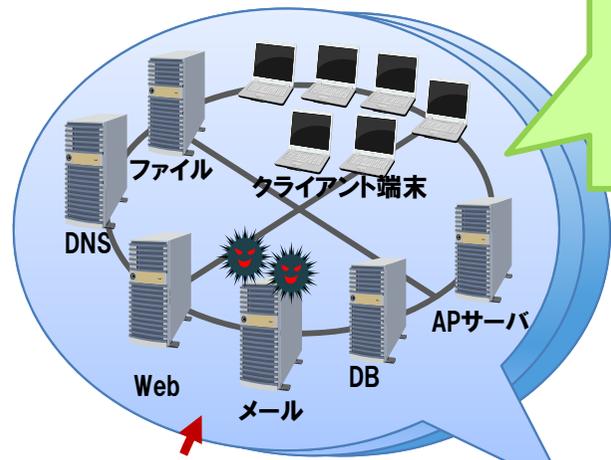


実践的サイバー防御演習 (CYDER : CYber Defense Exercise with Recurrence)

演習のイメージ

大規模仮想LAN環境
(NICT「StarBED」により実現)



石川県能美市

研究開発用の
新世代超高速通信網
NICT「JGN-X」

サイバー攻撃への対処方法を体得



都内(品川)

仮想ネットワークに
対して疑似攻撃を実施
(実際のマルウェアを使用)



疑似攻撃者

演習の特徴

- サイバー攻撃が発生した場合の被害を最小化するための一連の対処方法(攻撃を受けた端末の特定・隔離、ログの解析による侵入経路や被害範囲の特定、同種攻撃の防御策、上司への報告等)を体得
- 150台の高性能サーバを用いた数千人規模の仮想ネットワーク環境(国の行政機関や大企業を想定)上で演習を実施
- 我が国固有のサイバー攻撃事例を徹底分析し、最新の演習シナリオ(平成27年度は、年金機構への標的型攻撃を参考にしたシナリオ)を用意

平成28年度の予定

技術的知見を有するNICTを実施主体とすることにより、演習の質の向上や継続的・安定的な運用を実現

→ 地方自治体等に対象を拡大し、全国11箇所において、500組織、1500人を目標に実施予定

- 平成27年度は官公庁、重要インフラ事業者など、約80組織、約200人が演習に参加